

2012年5月29日/千葉大学附属図書館Ⅰ棟1階コンテンツスタジオ

2012年度アカデミック・リンク・セミナー(第1回)

「アカデミック・リンク・センター2012年度に向けて:

2011年度プロジェクトの成果と課題」参加者アンケート集計結果

当日参加者数: 25名 アンケート提出数: 24件

千葉大学アカデミック・リンク・センターでは、「生涯学び続ける基礎的な能力」「知識活用能力」を持つ『考える学生』を育成することを目的とし、デジタル時代における大学の学習教育環境の改革に取り組んでいきます。今後の活動のために、本日のセミナーに参加されたご意見・ご感想をお寄せください。

1. 本日のセミナーで、よくわかったこと、新しい発見などがあればお書きください。

- ・L棟での遊びが学習者の増加でいなくなった。
- ・学生の方が新しい使い方を開発している。
- ・SAの活用、図書館内の設備。著作権への取り組み。
- ・授業資料ナビ作成について、教員との協力体制。
- ・アカデミック・リンク・センターにどのようなコンテンツがあり、どのような実践がされているのか、体系的にわかり、ためになりました。
- ・11年度総括と今後についての概略がよく理解できました。
- ・電子化された資料について一番関心がありました。
- ・ラーニングコモンズ環境とe-learning環境をうまく結びつけるための場として、図書館を選んだというストーリーが良くわかった。
- ・図書館の先進的な取り組みの筆頭にあがる理由がいくつかわかった。作り上げようとする熱気が大きな刺激になった。
- ・静かな部屋ではキーボードをたたく音はうるさい。
- ・空間と人的支援とコンテンツの新たなる仕掛けが利用する学生達が柔軟に対応して学ぶ環境を構成していることが素晴らしいなと感じました。
- ・コンテンツ制作における、許諾のむずかしさ。(電子化はもっと進んでいると思っていた。)
- ・Moodleの概要。
- ・著作権がらみの話がやはり困難であるということ。
- ・コンテンツといえど、紙媒体と同じで許諾の問題が大きいということが分かりました。コンテンツに関する部分に関しては、まだこちらの聞く準備が整っていなかったのでやや消化不良ではありますが、人的支援の部分に関しては、具体的なイメージが持てて良かったです。
- ・見学会から通して参加させて頂きましたが、院生のアドバイザー(ALSA)の活動状況について大変参考になつたことと、教員と連携したパスファインダーの作成、PODのお話など、LCについて知らなかつた新しい取り組みは大変参考になりました。
- ・アカデミック・リンクの理念。
- ・学習支援について。
- ・偶然このセミナーに参加したが、学生に対してアンケートなどが行われていることを知り、積極的に次回は取り組みたいと思った。
- ・「学習状況・情報利用環境調査」における調査の結果が意外な事実だと私は思いました。
- ・ALSAの試行でわかったことは、なるほどと思いました。(実際の学生の利用状況など)
- ・「ALSAによる学習相談」の試行が参考になり課題が1つ見えてきたように思います。学習支援を実践している状況の継続的な経過説明をして下さい。

1. 本日のセミナーで、よくわかったこと、新しい発見などがあればお書きください。

- ・学習環境を新たに構築するための要素としてコンテンツとその提供の重要性が新たに理解できた。
- ・大学の一番の基本である“授業”に図書館がとても大きなサポートになる事を、本日の見学、セミナーで実感することができました。
- ・ALCのコンセプトを実現するために具体的なプロジェクトが同時進行し、それぞれがむすびついていることがよくわかった。特に見学ツアーにも参加させていただき、空間とサービスが正にリンクしている様子がわかりました。

2. 本日のセミナーで、よくわからなかったこと、疑問に残ったことがあればお書きください。

- ・具体的にSAはどのような成長があったのか。(成績?人間的成長?)
- ・レポートセミナーとALSAのレポートの違いは?
- ・Moodleについてなじみがないので知らなかつたが、今回のセミナーで知ることができました。
- ・困難だった事。(他部署との連携、協力について)
- ・11年度は始動した年だつたためと思ひますが、学生状況アンケートの標本数の少なさはデータの正確性という点で疑問でした。
- ・新「授業資料ナビシステム」運用の具体的な作業、姿などがよくわからなかつた。
- ・学生に個人のメールアドレスを外部業者に登録させることは、学生個人情報の外部への提供と同じと思えます。(メールアドレス程度は個人情報に相当しないというのが定説ですが。)
- ・レガシーコンテンツ作成にあたり、許諾の取れなかつた資料について紙の資料としてどの様に教材としていくのか、そのあたりを詳しく聞いてみたかったです。
- ・学生調査、有効回答 304→2.8% ?? 学習時間 授業 3H+自習 1H=4H ?? 図書館の利用状況の詳細を知りたい。
- ・コンテンツ作成の具体的なところ
- ・Moodleに関して、具体的にご説明いただく前に、何度も言葉がでてきましたのでややわかりにくかったです。最終的には大体理解できました。
- ・Moodleというシステムについてあまり理解できませんでした。
- ・ALSAの院生が取り組みについてどう考えているか。
- ・上にある調査における学習環境で思うことで、私も園芸ですが、自習室の拡張などは実現される方向で進んでいるのか?
- ・ALSAの事前事後の研修のしくみをどのようにやっているかを聞けなかつた(途中退出したので。)
- ・ALSAのサポート(学習支援)ですが、これから需要が増えた時の対策や、大学全体の初年次教育の中での位置づけについて知りたかったです。

3. 今後もアカデミック・リンクではセミナーやシンポジウムを企画していきます。そこで、取り上げてほしいテーマや講師があれば、お書きください。

- ・職員に向けてのアカデミック・リンクを知るイベント(見学会)があつたら良いかも、と思いました。職場を抜け出して参加するのはためらう人も多そうなので、学内の研修の一環としても良いかも知れないなあという感想を持ちました。
- ・著作権セミナー等があると嬉しいです。

3. 今後もアカデミック・リンクではセミナーやシンポジウムを企画していきます。そこで、取り上げてほしいテーマや講師があれば、お書きください。

- ・Moodleと実空間の具体的な連携の事例報告。
- ・作成した授業コンテンツの持続、発展的な利用について。
- ・専門書出版社の団体（人文会、法経会、工学書協会、自然科学書協会、返書出版協会など）の代表を招いて、専門書の電子データの提供、活用について、また許諾についてどう考えるか。アカデミック・リンク・センターの目標にどのような協力参加を考えるか。
- ・タッチパットが一般的ですが、音の小さいキーボード。
- ・オープンしてから2か月のアカデミック・リンク・センターですが、今の所、大きな問題もなく運営できているようですが、今後の検討、改善点などもできましたら教えて頂きたいなと思いました。
- ・学習支援以外のサポート（キャリアサポート等）について。
- ・ALSAで活動する院生の話が聞きたい。
- ・N棟のどこかが会場となるようなシンポジウムがあれば面白そうですね。
- ・アカデミック・リンクの運用組織構築のための取り組み・課題。
- ・現在すすめられているプロジェクトを通して、学生の“学力”がいかに上がつていったのか、実証するようなデータ発表があれば、と存じます。
- ・セミナー形式ではなく、ワークショップ形式で千葉大さんの取り組みと一緒に関われる場があると良いのでは？と思いました。→リポジトリの時のように実務ベースで。

4. 本日のセミナーの内容について等、その他、自由にご意見をお書きください。

- ・「見られる」スペースでのセミナーは緊張感があった。この「緊張」は利用者にはどのようにとられているのか。
- ・「見る」「見られる」事での活性化について、本学でも視認性を高めることで刺激になると想え、開けた図書館づくりを目指しているので、大変参考になりました。
- ・大変勉強になりました。ありがとうございます。
- ・人的支援の取り組み、コンテンツ構築の将来像など大変参考になりました。
- ・「許諾システムの望ましい姿」について具体的な提案をいただきたいと思います。
- ・研究者、スタッフのモチベーションが高く、メール、接遇、進行もすばらしかった。新しい日本の教育スタイルの最良のモデルを創っているほこりが感じられた。
- ・施設の案内も竹内先生にして頂き、非常にコンセプトの通った素晴らしい施設だと思いました。コンテンツの作成についても、強い意志を感じました。ご案内ありがとうございました。
- ・見学会がとてもよかったです。（百聞は一見にしかず！）取り組みが形にあらわれていると感じました。
- ・見学会に参加させていただき、現在本学で検討しているラーニングコモンズの内容（特に人的支援）のヒントを沢山いただきました。参考にさせていただきます。ありがとうございました。
- ・授業資料ナビや各種プロジェクトに感銘を受けました。本日はありがとうございました。
- ・本日は見学会に参加させていただき大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・学生が一人を超える人数いるのにアンケートの回答数315は少な過ぎると思う。もっと回答数を増やすために改善する必要があると思う。
- ・大変興味深いお話をありがとうございました。
- ・千葉大学さんの学習環境をより良くするためにできることを全て実践しておられることに敬意を表します。同時に大変だろうな・・・と。特にコンテンツについて大学間連携などの可能性が図れると良いのでは？と思いました。

5. 次の(1)、(2)について、該当するものに○をつけてください。

- (1) a. 学外から参加 19名 b. 学内からの参加 4名 無回答 1名
(2) a. 学生 3名 b. 教員 1名 c. 大学職員(図書館職員を除く) 2名 d. 図書館職員 6名
e. 出版関係 0名 f. その他 10名 無回答 2名

6. セミナーを何で知りましたか?(複数回答あり)

- a. Web(アカデミック・リンク・センター) 2名 b. Web(図書館) 0名 c. Web(千葉大学) 2名
d. 図書館内電子掲示 0名 e. ポスター 3名 f. センターからのメール 13名
g. Facebook・Twitter 1名 h. その他 3名(図書館通の方からのご案内、職場での紹介)
無回答 1名

千葉大学 アカデミック・リンク・センターでは、セミナーの開催や関連する情報を提供しています。これらの情報を希望される方は、お名前・ご所属・メールアドレスをご記入ください。(既に登録されている方は引き続きお届けしますので、空欄で結構です)

お名前：()
ご所属：()
電子メールアドレス：□申込時に申請したもの □それ以外 ()

ご協力ありがとうございました。

※10名が新規に継続的な情報提供を希望